

エコスタッフ・
エンジニア

リスクを取り除く努力

対策進捗も、高い発生率

労働安全衛生の重要性議論

安心安全な廃棄物処理・リサイクルの全国ネットワーク化を進めるエコスタッフ・ジャパン

（926）は6月8日、

東京都内で「廃棄物処理業における労働安全衛生のチェックポイント」について研修会を開いた。

長、**01・3**
3・52
京・中
央・田部
和生社

労働安全衛生は初のテーマ。北海道から沖縄までの会員企業の実務担当者20人以上が参加し、労働災害の事例や対策などについてクイズやワーキング形式で議論を深めた。

境ワークス社長（NPO法人国際環境安全衛生力バナンス機構代表理事）。廃棄物処理業・リサイクル業における労働安全衛生対策は過去30年で見違えるように向上したが、依然として労働災害発生率が全産業の4・8倍と高い。廃棄物処理の現場では化学反応や爆発、薬傷、高所作業、機械・コンベアなどさまざまにリスクがあることが具体例をあげて解説された。

社員の意識をいかに上げるか

取組事例として、興徳クリナーの北口恵章総務部長がOHSAS18001に基づく対策などを紹介した。

講師は、黒崎由行環

